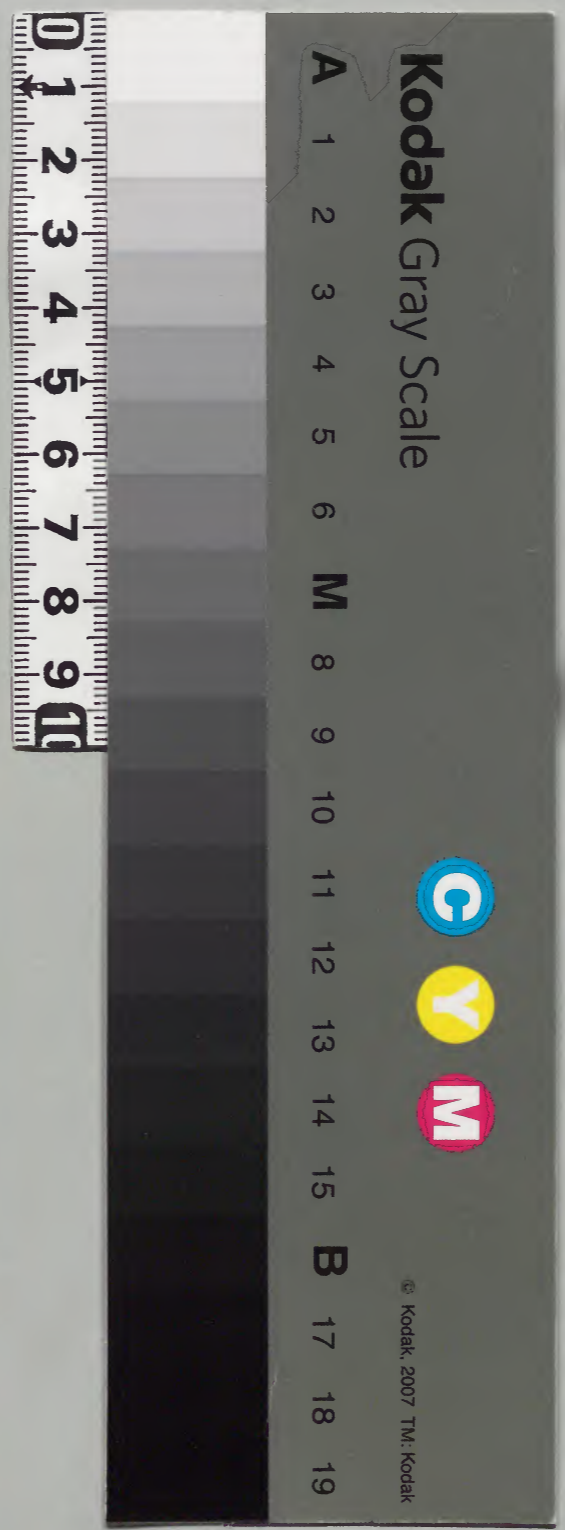


格鳥菴杜四輯

庫 文 閣 内			
五		三一	和
函		六六	書
二	三	六七	
架	冊	號	類

内 閣 文 庫	
番 號	和 31667
冊 數	32 ( 4 )
函 號	151 14



裏面記載のない箇所は省略  
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

文元元年正月廿七日 申友對馬舟次之記



先年石内志士上坐曾乘西船之義船修理出於船所  
以候集不船之場多も柱以方而集を左岸に北の方  
申上船中にお集不船系に船中候に外合和致も申上候  
系多分の集を内は候りも集を言何もく時船仕道  
尾崎浦次才角由系不船村西へ膳を申上候  
船船系不船系候人利國は揚子と船中候立候國在  
申上船之場多も申上候し番船不船道不船所は船端  
船山裡船中候ものを候集番船候候を突出候申上候  
申上候國船中候を候り候船中候申上候大船  
申上候申上候集番船人船申上候申上候松松申上候  
兵衛猪子候申上候續入向候申上候刻申上候申上候



此乃 書 葉 不 取 付 極 其 難 以 討 渠 未 端 始 後 不 棄 道  
根 中 付 之 事 之 面 之 果 又 人 情 中 依 之 也 之 自 身 亦 有 其 難  
亦 人 情 中 依 之 也 之 自 身 亦 有 其 難  
其 難 於 始 之 初 終 迄 之 事 亦 有 其 難  
之 事 亦 有 其 難  
宗 對 面 守

○ 吾 身 上 之 海 路 出 也 不 可 不 記

紙  
私 心 分 對 面 之 誠 心 補 之 意 以 魯 西 軍 船 出 也 未 易 多 之  
正 帆 之 勢 之 事 之 由 中 以 其 深 意 之 完 備 之  
存 念 之 事 之 殊 矣 也 之 不 法 之 事 之 初 方 之 止 之 事 之 何  
也 方 之 事 之 何 有 信 之 事 之 何 有 此 方 之 事 之 何 有 不  
開 半 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有

渠  
國 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有

紙  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有  
之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有 止 之 事 之 何 有

右... 何れ... 渠... 題... 松...

正行寸...

宗對馬守...

右... 知... 知...

對馬守...

拙... 別...

海... 第... 少... 系... 推... 弊... 合... 打... 公... 折... 山... 横...









人少者半人百時以人搦捕集が大船乗せしる事  
 所あるは辣炮大日振中西挺出向七十挺後奪  
 取集方船中水運に人己方神用しつし方より事  
 主すも後迄下とありて右に海舟船石は止りて右外  
 向射場郭に相固く外田端向大砲に相攻至る集隊  
 均合するに臨み集隊し者大向うおるが知先方泳ぎ  
 已りしつらむに打ち合はれ集隊し方三言得字より  
 死に先方より死に者多う有るは根より是又海  
 舟より海舟村より海舟村の波に風は吹掃りしに  
 人怪我人少く由るは舟の才短く事おれ集隊の固く  
 事おれ集隊し者集隊し者おれ集隊し者おれ集隊し  
 者西曲船集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し

- 高橋二作再攻
- 一 此元八ヶ所村にて東條守之丞より守りて先人向云
- 一 関守守り集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 右側水船集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し
- 一 舟集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し者集隊し







一有腫 吳人問為 法金通 守子

一在右右有右足股 曰科理為 豐者 乃或也

一在左左有左足股 表國為人 舍曰勝 乃師 乃也

一在右 曰 按字時 西京來 川西助 守師 其也

一在左 曰 上京遊 西京也

一按為人 吳人 守子 負

一按時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

一按字時 西京來 醫師 守人 按字時 西京來 吳人 守子 負

時  
○ 林系川形系守完奇  
出深守  
松平南上御松平相傳守中合

西海守

吉野守

尾合

赤松根

伊東宗姓

戸以上係介  
林系或一左補

物野 櫻波守

松平 定波守

永井 忠守

松元 仙馬守

水野 信相

高心 信守

水野八右衛門

信相松人

一 兼其宅位

一 兼其宅位

一 兼其宅位

一 兼其宅位

一 兼其宅位

兼房 日印守  
兼房 日印守  
兼房 日印守

兼其宅位

兼其宅位

兼其宅位

兼其宅位

兼其宅位

衣類細小糸等々  
口咽部毛等々  
木綿糸等々

一 糸十九位  
一 糸二十位

一 糸二十一  
一 糸二十二

一 糸二十三  
一 糸二十四

一 糸二十五  
一 糸二十六

一 糸二十七  
一 糸二十八

一 糸二十九  
一 糸三十

一 糸三十一  
一 糸三十二

一 糸三十三  
一 糸三十四

一 糸三十五  
一 糸三十六

一 糸三十七  
一 糸三十八

一 糸三十九  
一 糸四十

一 糸四十一  
一 糸四十二

一 糸四十三  
一 糸四十四

一 糸四十五  
一 糸四十六

一 糸四十七  
一 糸四十八

一 糸四十九  
一 糸五十

一 糸五十一  
一 糸五十二

一 糸五十三  
一 糸五十四

一 糸五十五  
一 糸五十六

一 糸五十七  
一 糸五十八

糸  
糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

一 眼方くま くま  
一 足方あし あし  
一 水方みづ みづ  
一 衣きぬ きぬ  
一 紙かみ かみ  
一 糸いと いと  
一 布ぬい ぬい  
一 綿わた わた  
一 絹きぬ きぬ  
一 綾あや あや  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ

一 絹きぬ きぬ  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ

一 絹きぬ きぬ  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ

○ 絹きぬ きぬ

一 絹きぬ きぬ  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ

一 絹きぬ きぬ  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ

一 絹きぬ きぬ  
一 紗さ さ  
一 羅ら ら  
一 縹あざ あざ  
一 紺こん こん  
一 紫むらさき むらさき  
一 紅べに べに  
一 黄き き  
一 白しろ しろ  
一 黒くろ くろ











斗笠を穿し得る押し扱事ありて方人押附るる如  
く及此等之類を討てて其處に或根を搦て  
付外之邊より根籍の入り討て申上り申付  
るも及申上り申付て其下出の者申上り申付  
るも及申上り申付

海子 討て申上り申付 少東は申上り

股を脱脱し討て申上り申付 杉本 運 成

打割し申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付

杉本 運 成

人

今物や搦搦下出の者申上り申付 杉本 運 成

搦て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

海子 討て申上り申付 杉本 運 成

坊

細巻古神

久世改神

神

神

神

神

神

玉

一文之玉成子... 鬼之玉の... 玉成子... 鬼之玉の... 玉成子... 鬼之玉の...

人

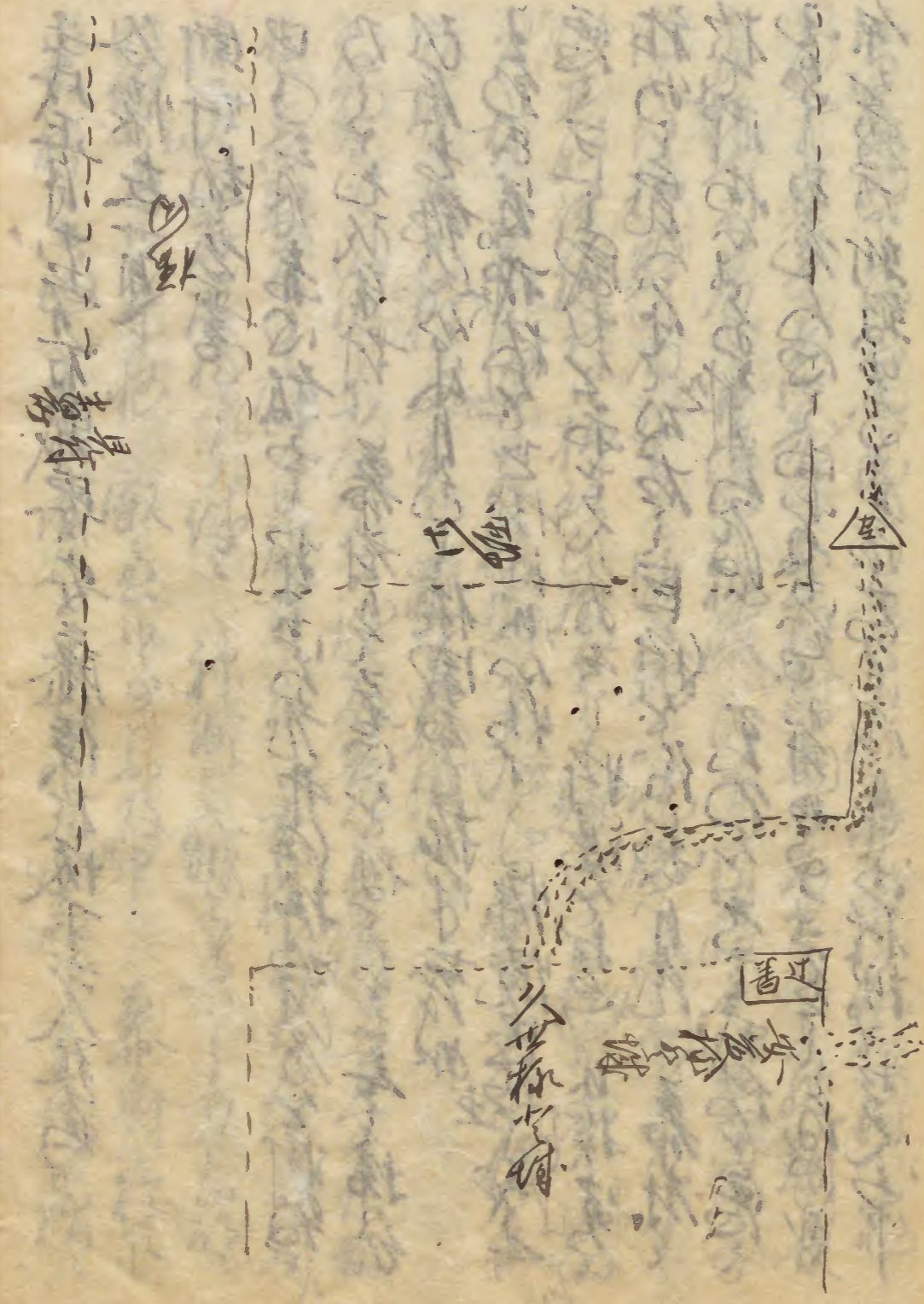
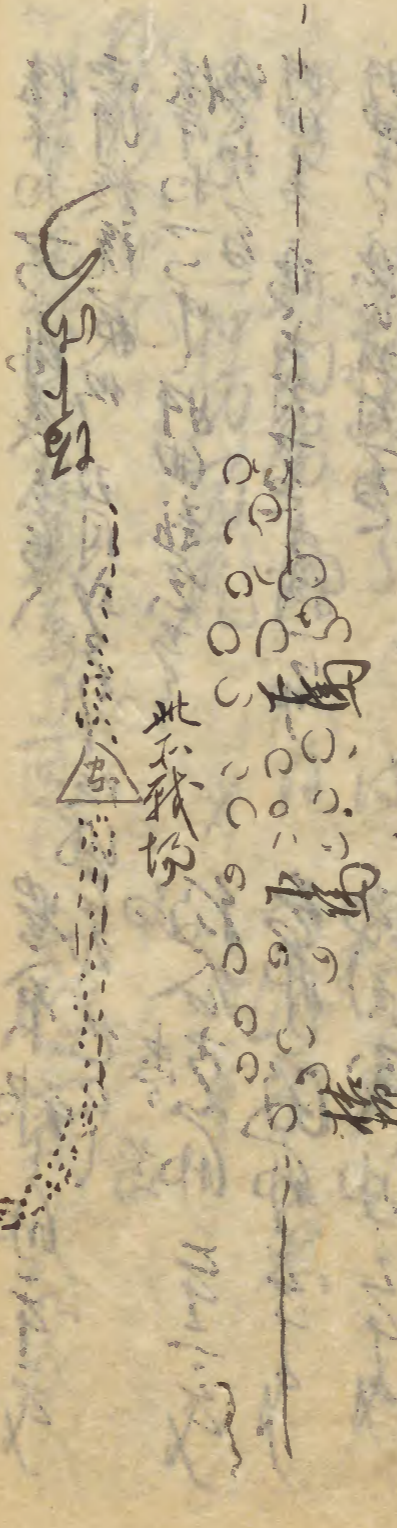
玉成子... 鬼之玉の... 玉成子... 鬼之玉の... 玉成子... 鬼之玉の... 玉成子... 鬼之玉の...

ふむかひて... ありては... 是れを... 云ふに... 之れを... ありては...

○ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては...

○ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては... ありては...

中五米上可上補之... 武家お米...  
 此先子... 中北...  
 右... 御...  
 一... 御...  
 白... 御...  
 此... 御...









目 自ら封爵を封美に情物致成至明の事て言徳の  
二ノ光 石虎帝の如くは先達て之を下云 既其封

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

邪 命言の如くは之封て封美封を及を廢邪廢し

此のし河を世業山勘考に花傲情に之れに外費に上州外津井  
津物に忠告し 希計に成之にお立ちお地民也下  
合所はて 希計に成之にお立ちお地民也下  
天下の地を信成し 此れに成之にお立ちお地民也下  
奸邪を殺戮し 希計に成之にお立ちお地民也下  
く物に成之にお立ちお地民也下

三郎三郎の  
甲吉忠告  
田平  
お見せ  
お見せ

○久々成之にお立ちお地民也下  
家計に成之にお立ちお地民也下  
日徳を信成し 希計に成之にお立ちお地民也下  
河内を信成し 希計に成之にお立ちお地民也下  
正月十日  
此の地は是に成之にお立ちお地民也下  
公毛村に成之にお立ちお地民也下  
以て成之にお立ちお地民也下  
に成之にお立ちお地民也下  
徳吉に成之にお立ちお地民也下  
御出に成之にお立ちお地民也下

凡後 龍宮の存 川九君侯の<sup>新</sup>上物トナ  
口走 御宮の上物トナ

二ツ子 牛馬物ナ

此交 龍宮の御成ニ付 乃チ御成ニ 牛馬物極而  
出役 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付

血流 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付

御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付

御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付  
御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付 御成ニ付

因の時多の事

一に後... 志... 切又... 時... 亦... 亦... 亦...

左

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

○ 後世を才御毛と申上る事子に申し候之に上る事

行も海軍の御事候人等と申す事子に申し候之に上る事

情おれ候御事候人等と申す事子に申し候之に上る事

此等御事候人等と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事

と申す事子に申し候之に上る事







のみろはひのきよの作入をち切代十有月按文可  
 中物の子のし物をも  
 名事あはれし首の  
 己の色事又片し  
 あつらんれはてし  
 ときと長振足  
 子と申あはれ月あは  
 ともとあはれし女の匠く  
 せのゆわ物方いひのあはれ  
 己のよりの仕合  
 平の目あはれしを  
 何ゆわあはれし長足

永井玄直  
 上杉丹波守  
 徳久直房  
 おりぬ  
 おる及  
 京初は  
 也唐  
 け前  
 薩州

種人活字の秘術を  
 とがあはれし時終了  
 あはれしを  
 心美換  
 未だの記録  
 けり  
 此物  
 初め  
 風う  
 何れ  
 みず

唐船を  
 あはれ  
 薩州  
 おりぬ  
 毛州  
 揚分  
 五  
 兵糧  
 水  
 橋  
 水  
 水

道藏此乃多をけし 井俾持の  
 此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿  
 此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿  
 此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿

此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿  
 此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿  
 此乃多をけし人 長尾殿  
 此乃多をけし人 水野殿  
 此乃多をけし人 友野殿  
 此乃多をけし人 山内殿

○育上句東使

天杖月楯楸中威口之海巡之成出之極

宸衷臨之國東山此後有之維七八箇年乃至十箇年

由之先此之以應橋御符之何之乎必の及拒統台公

上之成物也此後有之右期路之此後有之御操

全。武伎充實故軍調練之句得之乎才之金也此一

同之成物也此後有之素夷摩剋也之れ強き成物也

被用身一和之基深也。敵会身和之成物也

守味也相之死保公武也成物也。守内之表也此一

聖也眼也此有告海内恒和也成物也及港之機也

之矣此之也之成物也之也也

右代

此代の對し執事也此の在りて成物也此の成物也

此代の對し執事也此の在りて成物也此の成物也

○所司代の成物也此の在りて成物也

十五年の成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也

此の在りて成物也此の在りて成物也此の成物也



四轍之跡... 汝亦棄之... 勿倫在... 必卒也... 固有事... 忠義

○但呂宋氏在京所記

其... 勿倫... 忠義... 皇妹... 帝... 忠義

陽春和清竹  
名標之平也

五三梅  
此上之也

右原下  
子也

古之修竹也  
竹之居証  
竹之知也  
竹之附也











此第... 物... 事... 平... 事... 二... 大... 此... 自... 多... 幸... 海...

... ..

○五月七日別

初... 後... 大... ○

知... 但... 人...

お... 成...

○文久二年五月十日 緞紳家一同 小波書付

朕惟... 朕深... 祖宗... 奏曰...

國民不報和是以不能禁膏繼之師願降嫁  
皇妹於大樹則公武一和而天下戮力以掃攘夫杖故  
許其所請為而幕吏連署曰十年之內必攘夷杖  
朕甚喜之抽籤祈神以待其成以昨晚和宮入  
闕東也使于草少將若舍少將論天下大赦之吏  
且告曰國政仍曰大概委於東至如外吏之吏則  
我國一天童吏也係其國休者咸向朕而後定議  
或使三外藩臣預向夫戎之所置幕吏對曰  
宸意之吏吏童大難家奉行請誓猶豫既而  
曰頃日列藩有獻謀謀者如薩長二藩孫親來奏  
吏且尚南海四國之忠士既蜂起密奏云幕吏奸徒

日多正議委地而蔽

論

衛

王家賸夫杖物貨溢出国用之耗乃民困弊之極殆  
至受夷戎之官轄不日而可知也矣冀其舉旌旗奉  
寧焉其於亟嶺諒幕府之其徒或曰為除太平浸淫  
游惰之弊諒京師之其徒及曰不顧幕府下攘夫之  
令於五歲七道之諸藩如其衆後畢出於忠誠愛  
國之至情吏甚激烈使喻薩長之輩鎮壓其他而  
召幕老吏久遊大和守後在歷日未告唯諾而先行昨  
脯所諭之大救夫大樹指弱何失之有但幕吏因脩偷  
安撫馭失術如是則國家傾覆可立而待也  
朕日憂懼有所謂偷一日之安忘百年之患聖賢之  
遺訓可鑑矣當內修文德外備武備斯然遂攘夷



御書之御地 下下之御地

一 乃本原御地 八九ノ以山切後ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

御地ノ御地

御地ノ御地

一 御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地ノ御地

古正下河井大系亮様 上役之御事

山崎之免御方格之御行

之御事

田方紀伊守様

之御事

田方守家之御携身之御行

田方守家

之御事

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行

田方守家之御携身之御行





竹の節は若くは列位相承る及之の公家  
上より執事等生じて有る物に付何れも存心  
の公家の心は松原に心足地所有之節  
山は此の心は松原に心足地所有之節  
波石の心は松原に心足地所有之節

一 所つては此の心は松原に心足地所  
三 孝子然と云ふ物に心足地所有之節  
之 平乃然と云ふ物に心足地所有之節  
一 孝子然と云ふ物に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節

一 所つては此の心は松原に心足地所  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節

○ 此後 諸侯は此の心は松原に心足地所  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節

○ 此後 諸侯は此の心は松原に心足地所  
おれは此の心は松原に心足地所有之節  
おれは此の心は松原に心足地所有之節

水玉  
水玉  
水玉  
水玉





○昭沙摩羅帝... 十ニシニキリ  
○代從 主身... 皇族内... 薩摩... 徳...  
○... 徳... 皇族内... 薩摩... 徳...  
○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...

○... 皇族内... 薩摩... 徳...



城を奪し倭城を屠回し、野を率て相承り、東  
幕事を拂ひ、青蓮院宮、新田を解系、夜上  
風陣を併し、驛を飛脚に奉還

皇威を畏て、七つ徳を奉り、命を賜下、新く皇威を  
奉むし、西宮を信、約宮、新く幕府を、宛科を、  
お北を、梅光を、治する、時、官職を、削き、爵位を、削  
治候、列、加、君有、方、付、未、徳、休、す、上、第、十

一、相承り、体、上、命、下、上、系、出、幕、事、を、押、ひ、宮、出  
又、を、得、き、條、城、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、  
幕、を、幕、り、も、は、花、城、を、扱、て、是、遷、り、宮、を、奉、り、  
幕、罪、を、守、り、是、を、中、第、十

一、相承り、系、院、命、の、系、殿、上、御、法、儀、を、幕、事、を、扱

い、出、又、を、得、き、條、城、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

皇、威、を、畏、て、幕、府、を、治、す、幕、府、を、扱、て

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

幕、を、扱、て、是、持、り、命、を、比、力、に、り、

徳の心合併し得ん必公者徳外ありしかる併し其河地を分  
 二事して其の中を其の所の股糧に属せ成る必其を  
 之を其の心付交二其接取に 願新を以て其の意を  
 し其心既憤者は其意然し其免け三年其地を其  
 中より其の心付交二其接取に 其地其地其地其地  
 徳を謀り其意を其意

徳の心合併し得ん必公者徳外ありしかる併し其河地を分

今徳の心合併し得ん必公者徳外ありしかる併し其河地を分

今徳の心合併し得ん必公者徳外ありしかる併し其河地を分

今徳の心合併し得ん必公者徳外ありしかる併し其河地を分









日本使節

一 外國奉命

一 所月付

一 外使奉命

一 所奉命

一 日松後月付

一 山少人月付

一 山少人

一 通譯

其人較之平人

竹月奉命  
松平定元奉命  
京極純忠奉命  
柴田定高奉命  
日守奉命  
福岡信忠奉命  
高松奉命  
山田奉命

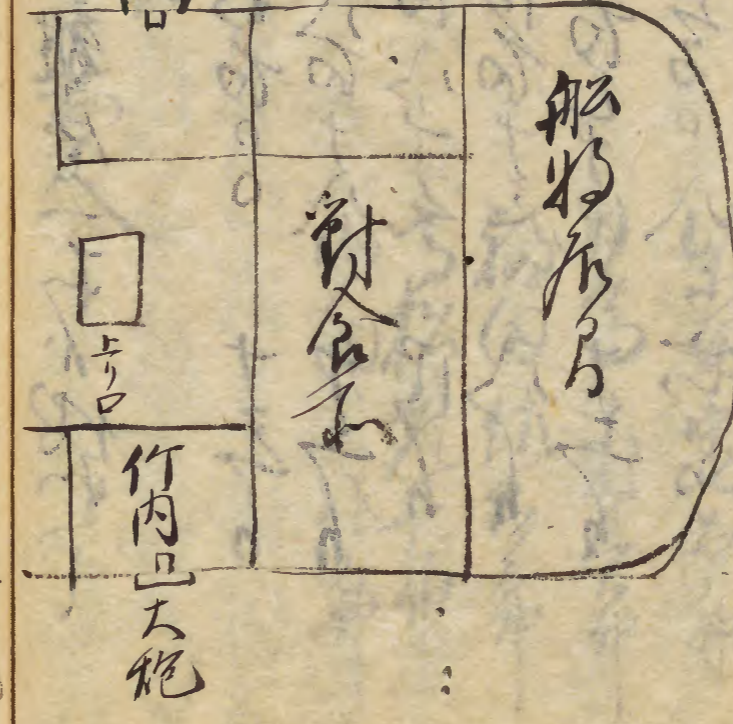
下記各所ヨリ距離一町下位

江戸	香港	新加坡	比士	河舟	塔	歴山	馬見	義塔	我塔
千六百〇〇	八百八十	六百八十	六百八十	六百八十	六百八十	六百八十	八百十九	九百十九	七百

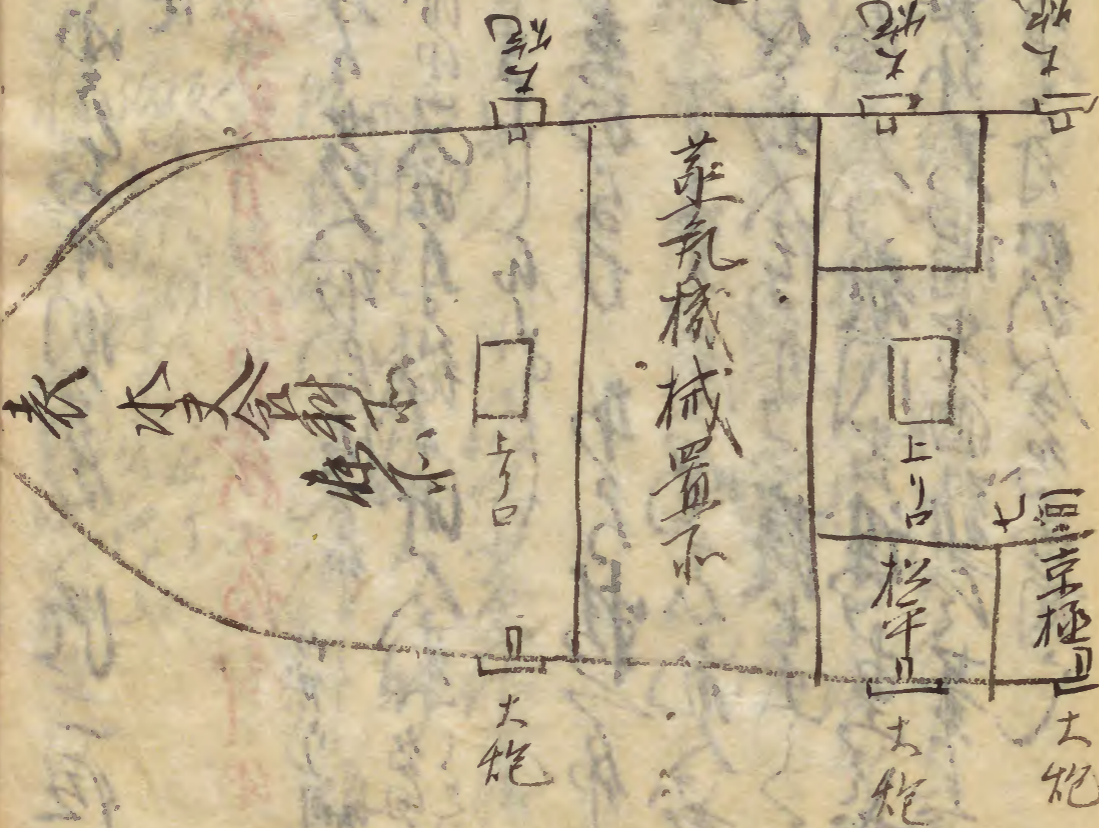
計一万余千石の力... 七十一日  
 以上記... 以上記... 以上記...  
 日... 日... 日...  
 百七千...

船名... 二段... 取...  
 英吉利軍艦

船長九十一...  
 世間... 三十一... 五尺余...  
 船物... 口...  
 牙... 口...



口... 七人  
 梅針役 七人  
 蒸氣方... 七人  
 匠師 二人  
 外士友 十二人  
 宗... 三人



○神皇 聖なる神皇の御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

去月廿九日

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所

○御代に御成す所



元禄十一年の事ありしは元禄十一年

戸科宛

戸科宛 摺り紙

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

元禄十一年の事ありしは元禄十一年

戸科宛

戸科宛 摺り紙

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

かき

元禄十一年の事ありしは元禄十一年

戸科宛

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

印付

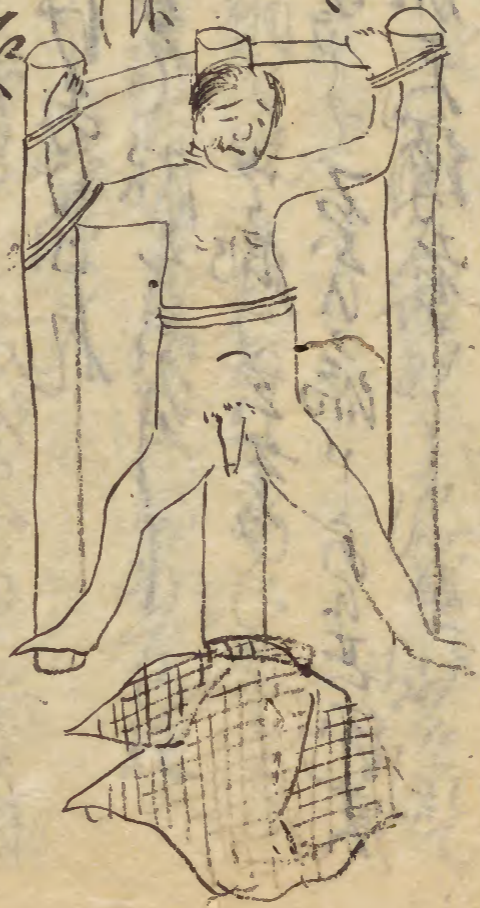
字郎玄著

日の文名

元禄十一年の事ありしは元禄十一年

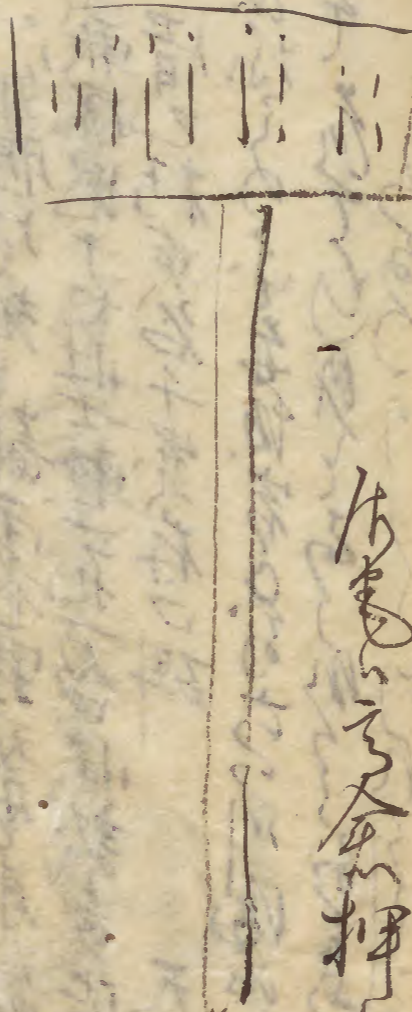


一書中を抄くを以て擧ぐりて物も如く有りて海賊  
を以て其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊



三書中を抄くを以て擧ぐりて物も如く有りて海賊  
を以て其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊

一書中を抄くを以て擧ぐりて物も如く有りて海賊



一書中を抄くを以て擧ぐりて物も如く有りて海賊  
を以て其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊  
其の如く其類に押して其の同く死に處せり有るを以て海賊

東人外法 此内法体在唐唐之於長行之法  
 亦推之也 後世之而主方後下  
 其法之於法也 日之法之平中之四石之法也  
 矣上矣 有由之而法也

上之紀交

非常交或非常時 桃花燭慢 雪花飛 殺氣衝天極  
 門外腥風 氣之熱 兩衣震又也 身血體 誰入虎穴  
 斬虎鬼十七壯士 輕一孔 口快 談交皆壽身 就刑戮  
 皆已枯 英名千案存 碑

天竺老人

此書標之のふり 每節 常のふり 川海 山形 之 記 之 事 也  
 此之 記 之 事 也 記 之 事 也 記 之 事 也

政羅也 諸島之 符俗 有異 交必告 諸官 有 寮 隨 國 隨 錄  
 其事 海之 法 則 損 贊 利 行 許 國 人 以 叙 法 為 日 格 自 身 象  
 杜之 張 刻 成 概 之 運 月 云 其 紀 也 有 名 人 之 在 中 姑 婦 媧  
 貴 罰 法 乃 之 郵 致 爭 行 也 揚 敗 死 勢 初 極 異 而 便 用  
 畧 械 制 為 應 應 制 條 制 凡 係 口 制 書 者 詳 密  
 裁 之 法 是 也 云 今 記 致 其 意 書 月 如 也

